

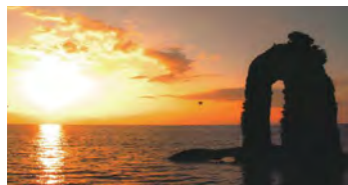


江差を基点に、近郊の町への周遊旅もおすすめです。

伸びやかな自然と景色が魅力の島

奥尻町

北海道の南西端に浮かぶ奥尻島。自然のままの景観と豊富な海の幸の味わいが人気。島のシンボル「なべつる岩」をはじめ、岩礁や奇岩が多数存在し、朝日や夕陽に照らされた神々しい姿も魅力です。



政治、軍事、交易の一大拠点の歴史

上ノ国町

上ノ国町は、北海道で最も早い時期に和人が定住した地であるとされ、残された史跡から北海道中世史を体験できる町と呼ばれています。また、恵まれた自然環境からアウトドレジャーを楽しむ人々も数多く訪れます。



北海道で唯一の城下町

松前町

松前町は北海道最南端に位置し、桜の名所として知られる北海道唯一の城下町です。松前城など歴史的文化遺産や、江戸時代の街並みを再現した藩屋敷、美しい海岸線などが人気です。



北海道内外から江差とその近郊の町へアクセス。旅のルートはいろいろです。



北海道内からのアクセス

- 飛行機
 - 札幌(新千歳) → 約40分 → 函館空港
 - 札幌(丘珠) → 約45分 → 函館空港
 - ※函館空港から函館駅までバスで20分
- 函館バス ☎(0139)52-0025
 - 函館駅 ⇄ 江差 平均2時間15分
 - 新函館北斗駅 ⇄ 江差 平均1時間15分
 - 木古内駅 ⇄ 江差 平均1時間30分
- ハートランドフェリー ☎(0139)52-1066
 - 奥尻 ⇄ 江差 平均2時間10分
- 鉄道(JR北海道)+函館バス
 - 札幌駅 ⇄ 八雲駅乗換 ⇄ 江差 平均5時間
- 松山ハイヤー ☎(0139)52-1178

北海道外からのアクセス

- 飛行機
 - 東京(羽田) → 約1時間20分 → 函館空港
 - 名古屋(中部) → 約1時間25分 → 函館空港
 - 大阪(伊丹) → 約1時間35分 → 函館空港
 - ※函館空港から函館駅までバスで20分
- 鉄道(JR新幹線)
 - 東京駅 ~ 新函館北斗駅 3時間58分 ~
 - 仙台駅 ~ 新函館北斗駅 2時間26分 ~
 - 新青森駅 ~ 新函館北斗駅 57分 ~
- フェリー
 - 青森 ~ 函館 約4時間

江差町へのアクセス

- 自動車
 - 札幌 ⇄ 江差 平均4時間30分
 - 八雲 ⇄ 江差 平均1時間20分
 - 新函館北斗 ⇄ 江差 平均1時間00分
 - 木古内 ⇄ 江差 平均1時間00分
 - 函館空港 ⇄ 江差 平均1時間40分

江差町観光情報サイト
https://esashi.town/



English Site
https://en.esashi.town/



江差観光コンベンション協会
Facebookアカウント



観光に関するお問い合わせは 江差町観光情報総合案内所 TEL: 0139-52-0117 https://esashi.town

いにしへの歴史、そのままのまちを歩く。

えさし
江差町

北海道

江差町 美
えさし
EE MACHI, ESASHI



姥神大神宮渡御祭

夕陽百選

にしん漁

江差追分

北前船



いにしえの物語が今も息づく、江差へ。



平成29年4月28日、江差の文化・伝統を語るストーリーが「日本遺産」に認定されました。
江差の五月は江戸にもない - ニシンの繁栄が息づく町 -

◆ストーリー◆

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りに、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。

この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の取引によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。北前船交易による繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。



歴史

伝統

自然

四季

その歴史

【北前船交易の繁栄】

江戸から明治にかけて、ニシンの加工品を求めて旧暦5月頃に数多くの北前船が本州から江差を訪れ、『江差の五月は江戸にもない』と謳われるほど栄えました。その繁栄により様々な文化も発展し、今も引き継がれています。

【幕末の物語～戊辰戦争の舞台～】

戊辰戦争は北海道南部でも繰り広げられ、江差では旧徳川幕府軍の軍艦『開陽丸』が沈没しました。また、江差へは榎本武揚や土方歳三などが訪れていて、戦いや人物にまつわる史跡や伝説を巡りながら楽しむことができます。

季節の見どころ

- [3月～5月頃] 江差追分会館では、GWから本場の江差追分と北海道民謡の実演を堪能できます。また、5月連休には特別実演として江差が誇る他の郷土芸能を見ることが出来ます。『江差いにしえ夢開道(5月)』は、艶やかな花嫁行列といにしえ茶屋など歴まちの魅力が詰まっています。
- [6月～8月頃] 『江差かもめ島まつり(7月)』は、海の男たちが一丸となって行う瓶子岩大しめ縄かざりが圧巻です。『姥神大神宮渡御祭(8月)』は、神輿渡御と豪華な13台の山車が町内を練り歩く様は圧巻。歴史と伝統を誇るエネルギー祭りは、北海道最古と言われています。
- [9月～11月頃] 『江差追分全国大会(9月)』は、全国から選抜された唄い手が集い、日本一のノドを競います。『江差町産業まつり(9月)』は、ニシンの三平汁やサケつかみ取りなど海の町ならではの楽しみいっぱいです。
- [12月～2月頃] 『江差たば風の祭典(2月)』は、1～2月に吹く季節風「たば風」に負けないように楽しいイベントが盛りだくさん。中でも「冬江差“美味百彩”なべまつり」は、クジラ汁や三平汁など道南に伝わる郷土鍋が数々楽しめます。

歴史を訪ねる

北前船による繁栄を
今に伝える町並み、
そして古建築。
歴史の香りを感じて
タイムスリップ散策。

いにしえ街道
江戸時代からのメインストリート。長さ1.1kmのなかに北前船交易を担った商家や蔵、ニシン漁の由来を語る神社、古建築を活用した飲食店などが建ち並んでいます。



姥神大神宮
江差にニシンをもたらした「折居伝説」を由来に持つ神社。毎年8月9日～11日にかけて行われる姥神大神宮渡御祭では13台の山車が出て、神輿とともに市街地を巡行します。「にしんみくじ」が大人気です。



横山家
江差で明和6年(1769)から漁業・商業・廻船問屋を営んでいた横山家。北前船によって交流が深かった京都文化の香りを今に残し、ニシン漁全盛期に使われていた生活用具を展示しています。(現在は休館)



旧中村家住宅
いにしえ街道沿いに建つ商家。海に向かう斜面に4棟が段々と下がりながら一列に建ち並び、一番海側の建物は昔の海岸沿いでした。
入館料: 大人300円、小・中・高生100円(15人以上の団体は1割引)
開館時間: 9:00～17:00
休館日: 4月～10月無休、11月～3月 月曜日・祝日の翌日、年末年始
お問合せ: 0139-52-1617



旧檜山爾志郡役所
(江差町郷土資料館)
明治20年(1887)建造の洋風建築。内部には色とりどりの布クロスが張られ、バルコニーからの眺望は抜群。
入館料: 大人300円、小・中・高生100円(15人以上の団体は1割引)
開館時間: 9:00～17:00
休館日: 4月～10月無休、11月～3月 月曜日・祝日の翌日、年末年始
お問合せ: 0139-54-2188



旧関川家別荘
江差商人関川家の別宅として建造。蔵では北前船で運ばれてきた調度品を展示。母屋では庭を眺めながら一休みできます。
入館料: 大人100円、小・中・高生50円(15人以上の団体は1割引)
開館時間: 9:00～17:00
休館日: 4月～10月は無休、11月～3月は休館
お問合せ: 0139-52-4220

ココマ体験! 着物で歴まち散策
着物姿で歴史の町並みを散策しませんか。着物はレンタルできます。

他にも様々な体験観光をお楽しみ頂けます。詳しくは裏表紙に記載の案内所へお問合せください。

歴史が エエ。

江戸時代の情緒を、 ぶらり散策。

かつての栄華を伝える商家や姥神大神宮などの社寺が並ぶ「いにしえ街道」、幕末ロマンを伝える「開陽丸記念館」など、歴史好きにはたまらない見どころがいっぱい。

かもめ島散策

開陽丸の物語に
思いを馳せ、
かもめ島では
自然と歴史を体感。



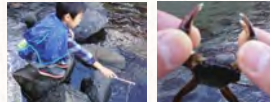
開陽丸記念館
オランダで建造された旧幕府軍の開陽丸は江差で沈没。実物大で復元した船に展示している大砲や弾などの遺物は、世界的にも数少ないとても貴重な資料です。大砲の発射音や操船シミュレーションなどの体験コーナーも人気です。
ココマ体験! ハンモック体験
実際に横になって当時の船員がどのように寝ていたかを体験できます。
入館料: 大人500円、小・中・高生250円(15人以上の団体は1割引)
開館時間: 9:00～17:00
休館日: 4月～10月無休、11月～3月末までの月曜日・祝日の翌日(祝日が月曜日の場合、翌日と翌々日が休館) 年末年始
お問合せ: 0139-52-5522

かもめ島

全周2時間、半周だと1時間ほどで回れるかもめ島は、まさに江差のシンボル。美しい自然を堪能しながら、北前船の航海安全を祈願した巖島神社などの文化遺産を楽しめます。毎年7月の「江差かもめ島まつり」では瓶子岩のしめなわを架け替えます。



ココマ体験!

カニ釣り体験
かもめ島のゴロンベエ浜は、地元で人気のカニ釣りスポット。カニ釣りセットはアンテナショップ「ぶらっと江差」で販売しています。


文化にふれる

交易で栄えた
江差に息づく、
江戸時代からの
文化を体感。



江差追分会館・江差山車(やま)会館
民謡「江差追分」や郷土芸能などを鑑賞できるスポット。江差追分の体験教室のほか、GWから10月末まで1日3回追分と北海道民謡の実演を実施。併設の「江差山車会館」では姥神大神宮渡御祭で町を巡行する13台の中から2台を展示しています。



入館料: 大人500円、小・中・高生250円(15人以上の団体は1割引)
開館時間: 9:00～17:00
休館日: 4月1日～10月末までは無休、11月1日～3月末までは、毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始
お問合せ: 0139-52-0920

ココマ体験!

～かもめの鳴く音にふとめをさまし
あれがエゾ地の山かいな～



江差追分体験 追分道場では、優勝者や地元元師匠がやさしく手ほどきします。

寺めぐり

いにしえの荘厳さを
今に伝える。
由緒ある寺や神社が
数多くある江差の
パワースポットめぐりは
いかが?

※一部のお寺では、拝観料が必要となります。



法華寺
(八方にらみの龍)
時の流れを見据える天井の龍。荘厳さを今に伝えます。
お問い合わせ: 0139-52-0355



金剛寺
(木喰仏・十王図)
日本海を望む中歌町の少し高台にあり「木喰仏」「聖観音像」ほか文化的価値の高い作品を拝観できます。
お問い合わせ: 0139-52-0645



正覚院
(寛保津波の供養碑)
開山は元禄2年(1689)。境内には寛保津波の供養碑と北海汽船瓊江丸遭難者供養碑があります。
お問い合わせ: 0139-52-0111



東本願寺 江差別院
(佐之市の碑)
北海道6カ所の真宗大谷派別院のひとつとして由緒あるお寺です。山の中腹に建つ存在感のある重厚な山門と大きな屋根瓦が特徴です。お問い合わせ: 0139-52-0069



西本願寺 江差別院
(北前船で運ばれた建材を使用)
約130年前に建立された願乗寺休泊所が前身。建物は近江商人が故郷から北前船で運んできた材料が使われています。お問い合わせ: 0139-52-0567



観音寺
(木喰の手による仏像)
嘉吉元年(1441)旭威法師の開基と伝えられる、古い歴史を持つ寺院です。
お問い合わせ: 0139-52-0572



美食が エエ。

この看板を見かけたら
絶品いか刺しを
食べるチャンスかも!!

歴史の旨さ、海の恵みに、舌つづみ。

江戸から明治にかけて北前船の交易で栄えた江差には、
歴史が育てた美味がいっぱい。
日本海で穫れた新鮮な魚介も豊富に、多彩な江差グルメを満喫できます。



スルメイカ魚が解禁される
6月以降、この看板があると
ランチで「イカ刺し定食」を
食べられます!



ニシン丼はぜひとも
食べておきたいところ



海の町江差ならではの
息を呑む鮮度のお寿司も



町民に愛され、近隣からも
お客様が絶えない絶品スイーツ



ニシンそばは、各店舗の
味比べも楽しい



これなんだろう?
そんな隠れたグルメ探しを



本格中華も楽しめるのが
この町の懐の深さなのです



気持ちがほぐれるやさしい甘味
散策の途中で立ち寄りた



ラーメンファンも唸る
本格北海道ラーメンもぜひ



江差の海苔を使った「海苔の棒飯」は
香りが抜群の逸品。



前浜の素材たっぷりの
鍋や一品料理に舌鼓



フレッシュな乳製品も
豊富に楽しめます



職人が生きる町江差だから
粋な和食もいろいろ



豪快に盛り付けられる丼物
これも江差の心意気

現地では、江差の食べ
どころ・飲みどころの
詳細情報を掲載した
「江差町観光
ガイドブック」が
便利で、観光案内所な
どの町内観光施設で
入手できます。



お土産が エエ。

江差の風土を感じる逸品いろいろ。

この町が育んだ甘味の数々から磯の香たっぷりの味覚まで、
江差がギュッと詰まった特産品ぞろいです。



五勝手屋羊羹
明治3年創業の老舗が作る羊羹。明治時代
に品評会で授与された賞状を模したレトロな
パッケージが人気です。



ソーランちまき
北海道産のもち米とニシン・
カニ・ホタテの中華ちまきの
味わいを。



**前田製菓
追分まんじゅう**
まろやかな餡と生クリームの
口当たりが人気。



にしん甘露煮
ニシンそばには欠か
せないニシン甘露煮
はこれぞ江差の味。



**山田屋
大福**
季節限定の葛大
福のほか、多種の
大福をお楽しみく
ださい。



金澤菓子舗 黒糖まんじゅう
黒糖の甘さと香りが決め手の絶品まんじゅう。



**浅野屋
由蔵ロール**
ビターなほちみ
つの甘さが香
る新スイーツ。



乾物
江差産の乾
物も豊富に販
売しています。

季節限定の味覚



寒海苔
冬のかめめ島で、手摘
みされた海苔。磯の香
りが強い希少品。

まめ漬け
道南地方に伝わる郷土
料理、枝豆の漬物。



かたこ餅

地元の女性団体が
米粉から作った伝統
の味。



追分こうれん
江差地方の農家に伝わる素朴な米菓子。
トースターなどで軽く炙り
香ばしくいただけます。



特産品がずらりと並ぶ、江差の魅力発信地 アンテナショップ ぷらっと江差

えさし海の駅に設置された特産品販売コー
ナーです。江差町内の特産品を豊富に取り
扱っており、軽食コーナーや休憩スペースなど
ご用意。江差に来たらぜひ立ち寄ってください。
江差町字姥神町1-10
開陽丸青少年センター内
電話番号 0139-52-1377
営業時間 9:00~17:00
軽食コーナー: 11:00~16:00
定休日 4月~10月無休
11月~3月月曜日・祝祭日の翌日
年末年始
駐車場 約100台



※一部ぷらっと江差ではお取り扱いしていない商品もございます。

江差ぶらりMAP

江差に行く前に、ちょっと紙面でぶらり散策してみてください。



温泉
緑丘温泉みどりヶ丘の湯 緑丘172
 源泉100%かけ流し。爽やかな檜の香りが楽しめます。露天風呂もご用意しています。
 TEL(0139)52-6310

ぬくもり保養センター 尾山町126
 源泉かけながしで、足湯も完備ゆったりくつろぎの湯。
 TEL(0139)52-0083

繁次郎温泉 田沢町82-7
 低温湯～約46度の源泉かけ流しなど5種類の浴槽、露天風呂やサウナも完備。
 TEL(0139)54-5454

今いる場所で同時にタイムスリップ!? VR(バーチャルリアリティ)設置
 バーチャルリアリティ(VR)、アグメンティッド・リアリティ(Ar)の世界とスタンプラリーをスマートフォンで体験できます。



VRを体験するには～スマートフォンに「ストリートミュージアム」アプリのダウンロードが必要です。※通信費はかかります。

うれしい!フリーWi-Fiスポット
 フリーWi-Fiを設置しております。



夕陽百選を撮ろう! 撮影スポット情報
 散策の途中でさまざまな表情を眺められる江差の夕陽。その中でもオススメの6つのポイントをご紹介します。



宿泊施設のご案内

- MAP 1** ホテルニューえさし TEL(0139)52-3311 新地町52
- MAP 2** ホテル寺子屋 TEL(0139)52-0855 姥神町26-3
- MAP 3** 目谷旅館 TEL(0139)52-0072 橋本町37
- MAP 4** 辻旅館 TEL(0139)52-0062 中歌町56
- MAP 5** 港旅館 TEL(0139)52-0308 姥神町8
- MAP 6** ふじや旅館 TEL(0139)52-0115 愛宕町1
- MAP 7** 江差 旅庭群来(くき) TEL(0139)52-2020 姥神町1-5
- MAP 8** レンタルルーム十河 080-1898-3899 陣屋町496
- MAP 9** 繁次郎番屋 簡易宿泊所 TEL(0139)52-1177 (道の駅江差) 泊町
- MAP 10** まなびつく(檜山人材地域開発センター) TEL(0139)52-0160 南が丘7-172
- MAP 11** 旅籠 橋本屋(簡易宿泊所) TEL(0139)56-6689 橋本町16

日本夕陽百選の感動

海に向かって小高い丘状になった地形の江差は、日本の夕陽百選に選ばれる夕陽の名所。四季折々の美しい夕陽を眺めることができます。かもめ島や道の駅のウッドデッキからの眺望はもちろん、散策途中のいたるところできれいな夕陽に出会うことができます。



日本海にしずむ夕陽



かもめ島から望む夕陽



夕陽に染まる江差の町